

# (一社) 日本救急救命士会 令和6年度会員総会

期 日：2024年10月5日(土)

方 法：Web ページによる報告

## 1 報告事項

### 1. 事務局報告

#### 1) 入会・協賛の状況 (2024年10月3日時点)

正会員数 240名

(内訳) 消防：68名 医療機関：94名 教育機関：51名 その他：27名

評議員数 126名

賛助会員 3団体

- ・株式会社へるす出版
- ・(一社) 全国救急救命士教育施設協議会
- ・JEMS リンクル株式会社

#### 2) 役員紹介

【別添資料1】

#### 3) 委員会設置、担当理事・委員長、委員会の概要

事業の円滑な実施を図るため以下の委員会を設置し担当理事を置き委員長を選任した。

##### ○総務委員会

担当理事：植田 広樹、中川 貴仁 委員長：中川 貴仁

概要：事務局と連携し、本会における総務全般、財務経理を担当し、各委員会の事業を支援する。さらに会員情報の管理、福利厚生、表彰及び他団体との情報交換等の事務業務を担当する。また、救急救命士の職域における課題やニーズを分析し、他の委員会と連携しながら将来に向けての計画を検討し、事業立案を行う。

##### ○学術・研究倫理委員会

担当理事：一ノ瀬 佳彦、萱沼 実 委員長：中川 洸志

概要：一般社団法人日本救急救命士会は、その事業の一つに、救急救護領域の学術に関する事業を掲げている。学術に対する綱領、救急救命士が行う研究に関する倫理指針、研究活動上の行動規範を定め、救急救命士が教育・学術・研究の研鑽に根ざした専門性に基づき、救急救護領域の質の向上を図ることを目的に、専門的知識や技術の進歩と開発に努め、救急救護領域の発展に寄与していく。

#### ○教育・研修・多職種連携委員会

担当理事：大石 奨、三上 剛人 委員長：大石 奨

概要：救急救命士の専門性向上を目的とし、教育プログラムの作成と実施、臨床実習の質向上に向けた指導者のためのガイドラインの作成、他の委員会と連携したより効果的な教育企画の実施等を行う。また、多職種連携の推進として、救急救命士が活動する様々な現場における役割の明確化や各現場に適した多職種連携モデルの構築等に取り組んでいく。

#### ○広報・キャリア支援委員会

担当理事：津波古 憲、長谷川 汐里 委員長：長谷川 汐里

概要：SNS やマスメディアを活用して、本会の使命・役割や活動実績の広報をすることで認知度の向上を図るとともに、救急救命士に対する社会的理解を浸透させ専門性の向上を図る。また、救急救命士の就職・転職や職場復帰に関する課題と解決策について検討し、会員の希望に沿ったキャリア形成の推進を図るための機会や充実したサポート体制の構築を実現する。

#### ○職業・専門職倫理委員会

担当理事：澤田 仁、(福岡 範恭) 委員長：澤田 仁

概要：救急救命士の専門性を向上させ社会に対する信頼性を確立するため、救急救命士が活躍するあらゆる現場において遵守すべき専門職の倫理基準を策定し、救急救命士に与えられた社会的責任を果たすための行動指針を明示することを目的とする。併せて、救急救命士の専門職倫理に基づく適正な現場活動を確保するため、専門職としての実践ガイドラインを策定する。

#### ○救急救命処置委員会

担当理事：沼田 浩人、吉井 友和 委員長：林 智貴

概要：救急救命処置の技術の向上および質の高い救急活動が安全、確実かつ円滑に行われるよう、救急救命処置に関する研究やデータ収集を通じて、救急救護領域の発展に寄与することを目的として活動を行う。また、救急救命士を取り巻く現状の課題を抽出するとともに、新たな救急救命処置、および対象等の拡大・変更の議論に対して、関係省庁・機関と協力関係を築き、提言を行い、国民の生命を守るために救急救命士の職能向上に努めるための活動を行う。

#### ○災害・公共福祉委員会

担当理事：宮崎 伊佐夫、(北村 浩一) 委員長：小田 浩文

概要：地震、台風等の災害により生じた傷病者を救護する救急救命士の役割は重要であり、その期待は大きい。本委員会は、近年の激甚化する大規模自然災害等に対して、様々なフィールドで活動する救急救命士の役割、業務内容、災害支援等について検討し、関係する各種団体と協力し、活動を行う。また、公共福祉を高めるため、各種行事における救急救護の普及啓発等、公益目的事業の推進についても併せて検討を行う。

○国際委員会

担当理事：菊地 誠二、(北原 学) 委員長：菊地 誠二

概要：本会の関連する委員会と協力し、世界中の救急医療に関する知識や技術の共有、国際的なガイドライン策定や研究への参画、そして海外の救急救命士職域団体との連携を図る。また、国際会議への参画や海外等研修プログラムを通じて、日本の救急救命士の国際的な地位向上とネットワーク構築を目指し、本邦の救急救命士の資質向上に寄与する。

※委員にはついては委員長及び担当理事の協議により選任（定款第 41 条 4）

**2. 評議員会（社員総会）報告**

第 1 号議案 非選挙監事の選任（定款第 26 条 4）

- ・中島 亮 氏（司法書士なかじま法務事務所）を非選挙監事へ選任することが承認された。

第 2 号議案 令和 6 年度事業計画（案）

- ・令和 6 年度事業計画（案）について承認された。【別添資料 2】

第 3 号議案 令和 6 年度予算（案）

- ・令和 6 年度予算（案）について承認された。【別添資料 3】

以上

2024 年 10 月 5 日 議長 喜熨斗 智也

## 【資料 1】

### 一般社団法人日本救急救命士会 第一期役員（理事・監事）

会 長	喜熨斗 智也	国士舘大学体育学部スポーツ医科学科
副 会 長	福岡 範恭	京都橘大学健康科学部救急救命学科
副 会 長	北村 浩一	石橋地区消防組合
副 会 長	北原 学	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
理 事	一ノ瀬 佳彦	岸和田市消防本部
理事（総務）	植田 広樹	国士舘大学 防災・救急救助総合研究所
理 事	大石 奨	豊田市消防本部 /熊本大学教授システム学教育実践力開発拠点
理 事	萱沼 実	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
理 事	菊地 誠二	陸上自衛隊 衛生学校
理 事	澤田 仁	京都橘大学健康科学部救急救命学科
理 事	津波古 憲	国士舘大学体育学部スポーツ医科学科
理 事	中川 貴仁	弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科
理 事	沼田 浩人	日本医科大学多摩永山病院
理 事	長谷川 汐里	JEMS リンクル株式会社 /日本救急システム株式会社
理 事	三上 剛人	吉田学園医療歯科専門学校
理 事	宮崎 伊佐夫	日本赤十字社伊勢赤十字病院
理 事	吉井 友和	出雲市消防本部
監 事	岡本 征仁	社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院 /元札幌市消防局 局長
監 事	脇田 佳典	東京慈恵会医科大学 救急医学講座 /元和歌山県消防学校 学校長
監 事	中島 亮	司法書士なかじま法務事務所
事 務 局 長	後藤 奏	日本救急システム株式会社

## 令和 6 年度事業計画

- 1) 一般社団法人日本救急救命士会設立、正会員募集開始 2024 年 4 月 23 日 (火)
- 2) [通常]理事会 (Web)、評議員公募 (~7/31) 2024 年 4 月 25 日 (木)
- 3) [臨時]理事会 (Web) 2024 年 8 月 13 日 (火)
- 4) ウェルカムセミナー (Zoom ウェビナー) 2024 年 7 月 11 日 (木)
- 5) 緊急座談会 (Zoom ウェビナー) 2024 年 7 月 25 日 (木)
- 7) 第 1 期役員選挙広告 (Web) 2024 年 8 月 1 日 (木) ~8 月 22 日 (木)
- 8) 評議員選出委員会 2024 年 8 月 13 日 (火)、評議員選任通知 8 月 14 日 (水)
- 8) 役員立候補者の氏名・業績等を評議員へ通知 (Web) 2024 年 8 月 26 日 (月)
- 9) 第 1 期役員選挙 (Web 投票) 2024 年 9 月 3 日 (火) ~9 月 5 日 (木)
- 1 0) 第 1 期役員 (理事) 候補選出選挙結果発表 9 月 6 日 (金)
- 1 1) [臨時]評議員会 (社員総会・Web) 2024 年 9 月 8 日 (日)
- 1 2) 新理事会 2024 年 9 月 8 日 (日)
- 1 3) [通常]理事会・評議員会 (社員総会)、会員総会 (HP 報告)  
2024 年 10 月 5 日 (土) 午前
- 1 4) 設立記念フォーラム、意見交換会 2024 年 10 月 5 日 (土) 午後
- 1 5) オンデマンドコンテンツ Web 配信
- 1 6) Web セミナー (月 1 回程度) 開催予定
- 1 7) 座談会 (Zoom ウェビナー)
- 1 8) ニュースレター発行 (Web 配信)
- 1 9) JELSTA 主催ハンズオンセミナー (日臨救医会認定コース) 【会員優先】
- 2 0) 第 48 回国試受験者応援・ウェルカムセミナー (Zoom ウェビナー)
- 2 1) [通常]理事会 (2025 年 2 月~3 月中)

## (一社) 日本救急救命士会 令和6年度予算 (令和6年4月23日～令和7年3月31日)

(単位: 円)

科目		2024年度予算	備考
収入の部	繰越金	0	
	入会金	1,500,000	5,000円×300名 (現在 237名)
	会費 (正会員)	0	初年度無料 (次年度5,000円)
	会費 (評議員)	1,260,000	10,000円×126名
	会費 (賛助会員)	500,000	一口100,000円×5団体 (現在3団体)
	年度協賛	500,000	一口100,000円×5団体 (現在0団体)
	その他協賛金	130,000	設立記念フォーラム協賛金50,000円×1団体 30,000円×2団体 10,000円×2団体
	意見交換会会費	330,000	5,500円×60名
	事業収益	300,000	
	利息	0	
	<b>合計</b>	<b>4,520,000</b>	
支出の部	<b>運営費</b>	<b>1,805,000</b>	
	事務所賃貸費	165,000	へるす出版月額55,000円 2025年1月～ (3か月分)
	ホームページ運営委託	150,000	保守点検費10,000円×12ヶ月 その他素材画像制作費30,000円
	評議員会	0	評議員会会場費
	理事会	20,000	理事会会場費
	会議費	50,000	委員会会議費
	事務費	100,000	郵便費、振込料、消耗品
	登記費用	550,000	登記費用401,693円、追加登記150,000円
	広報費	100,000	ポスター作成費、リーフレット作成費、プレスリリース費用
	旅費	500,000	
	交際費	100,000	他団体交流費用、名刺、挨拶手土産
	税金	70,000	都民税、区民税
	<b>事業費</b>	<b>2,030,000</b>	
	講演会	500,000	設立記念フォーラム会場費270,000円 謝金95,000円 弁当代35,000円 事務費用100,000円
	懇親会	330,000	意見交換会費330,000円
	委員会	800,000	8委員会
	<b>予備費 (その他)</b>	<b>400,000</b>	商標登録出願費用66,885円 出願人名義変更届の提出28,412円 手続補正書提出 (委任状補正) 19,659円 評議員バッジ116,000円 HP新規構築費100,000円他
	<b>計</b>	<b>3,835,000</b>	
	事業用積立金	0	
	次年度繰越金	<b>685,000</b>	2025年度へるす出版事務委託費用見込
<b>合計</b>	<b>4,520,000</b>		